

環境マネジメント

第7次環境中期計画／2018年度 目標・実績／2019年度 目標

目的・目標テーマ	第7次環境中期計画 環境目的(2018~2021年度)	2018年度	2018年度	2019年度
		環境目標	実績	環境目標
1 地球温暖化防止 への貢献(製品・ サービスの提供)	•全ての製品において低GWP冷媒への置き換えを実施します	•製品における低GWP冷媒への置き換えを実施します 3機種実施完了	3機種実施完了	•製品における低GWP冷媒への置き換えを実施します 3機種以上実施完了 •低GWP搭載装置の販売台数拡大
	•省エネ製品の販売により、CO ₂ 排出抑制に貢献します CO ₂ 排出抑制貢献量 8,200t	•省エネ製品の販売により、CO ₂ 排出抑制に貢献します CO ₂ 排出抑制貢献量 7,900t	CO ₂ 排出抑制貢献量 8,408t	•省エネ製品の販売により、CO ₂ 排出抑制に貢献します CO ₂ 排出抑制貢献量 8,000t
	•新たなエナジーデバイスの開発に合わせた専用装置を開発し、 お客さまに提供します 専用装置5機種の開発・市場投入による売上拡大	•新たなエナジーデバイスの開発に合わせた専用装置を開発し、 お客さまに提供します 専用装置2機種の開発・市場投入	専用装置2機種開発・市場投入	•新たなエナジーデバイスの開発に合わせた専用装置を開発し、お客さまに提供します 専用装置3機種の開発・市場投入
	•新排ガス規制に向けエコカーや電動化技術を開発される お客さまに製品を提供します ①自動車市場向け装置の売上拡大 ②自動車市場向け受託試験の売上拡大	•新排ガス規制に向けエコカーや電動化技術を開発される お客さまに製品を提供します ①自動車市場向け装置の売上拡大 ②自動車市場向け受託試験の売上拡大	①自動車市場向け装置売上高 目標達成率 104% ②自動車市場向け受託試験売上高 目標達成率 91%	•新排ガス規制に向けエコカーや電動化技術を開発されるお客さまに製品を提供します ①自動車市場向け装置の売上拡大 ②自動車市場向け受託試験の売上拡大
2 環境負荷低減	•製品のライフサイクルの視点で環境負荷を低減します ※2019年度より新規追加	——	——	•環境配慮開発設計ガイドライン改訂と全社への教育・周知を行います
	•予防保全による製品性能の維持と省エネ推進に関わるサービス・ 技術を開発します	•お客さまの潜在ニーズを先取りしたサービスメニューのための 技術開発を行います	技術開発テーマ 1件実施完了	•お客さまの潜在ニーズを先取りしたサービスメニューのための技術開発を行います
	•お客さま先試験室での排熱処理に関わる技術を開発し、 エネルギーの削減に貢献します	•製品による環境負荷低減に向けた技術開発を行います	技術開発計画の策定完了	•製品による環境負荷低減に向けた技術開発を行います
	•ノンフロン発泡断熱材への切り替えにより、製品の環境負荷低減 とリサイクル容易性の向上に貢献します	•ノンフロン発泡断熱材への切り替えにより、製品の環境負荷低減と リサイクル容易性の向上に貢献します	ノンフロン発泡断熱材切替に向けた調査・検討を実施	•ノンフロン発泡断熱材への切り替えにより、製品の環境負荷低減と リサイクル容易性の向上に貢献します
	•部品のリユース再生技術を開発し環境負荷低減に努めます ①計装基板2種類実施完了 ②棚板リユース4種類実施完了	•部品のリユース再生技術を開発し環境負荷低減に努めます ①計装基板のリユース実施 ②ステンレス棚板の再生利用の仕組みの構築	①計装基板のリユース 実施準備完了 ②ステンレス棚板の再生利用の仕組み 構築完了	•部品のリユース再生技術を開発し環境負荷低減に努めます ①計装基板再生率80%以上、計装基板の再生体制の確立と実務運用の開始 ②2018年度に実施完了済み
3 エコサイト・エコ オペレーション	•製造および受託試験でのCO ₂ 排出量(原単位)を削減します 2012年度比 原単位23.3%改善	•製造および受託試験でのCO ₂ 排出量(原単位)を削減します 2012年度比 原単位21.2%改善	2012年度比 原単位20%改善	•製造および受託試験でのCO ₂ 排出量(原単位)を削減します 2012年度比 原単位21.9%改善
	•製造およびグローバル調達の拡大に伴う排出物の増加を抑制します 2017年度比4%削減	•福知山工場排出物総量を2017年度比で1%削減します	2017年度比 8.5%削減 福知山排出物総量:568.0t(2017年度621.0t)	•福知山工場排出物総量を2017年度比で2%削減します
4 汚染防止	•PTR規制対象物質を基準値1.0t以下とします	•1-プロモプロパン(アブゾール)の使用を2016年度比で30%削減します	1-プロモプロパン(アブゾール)使用量 7.4t	•1-プロモプロパン(アブゾール)の使用を2016年度比で80%削減します
	•グローバル市場向け製品をRoHS規制対応品とします 15機種	•グローバル市場向け製品をRoHS規制対応品とします 3機種実施完了	2機種実施完了	•グローバル市場向け製品をRoHS規制対応品とします 4機種実施完了
	•カスタム仕様製品をRoHS規制対応品とします 4機種	•カスタム仕様製品をRoHS規制対応品とします RoHS規制対応に向けた企画	実施計画の策定完了	•カスタム仕様製品をRoHS規制対応品とします 2機種実施完了
	•社内情報システムを活用したグループ間の部品情報の連携強化	•SDS(製品安全データシート)の情報システム連携を完了します	SDSの情報システム連携 実施完了	•社内情報システムを活用した部品情報共有に向けての現状把握と実施計画の策定を行います
5 生物多様性保全・ 社会貢献	•自然再生事業により生物多様性保全を推進します 企業向け事業所敷地・保有林での受注件数20件	•企業向け事業所敷地・保有森林の簡易多様性評価・保全事業を 拡大します PR件数 80社	PR件数108社 5件受注	•企業向け事業所敷地・保有森林の簡易多様性評価・保全事業を拡大します PR件数100社
	•京都モデルフォレスト活動を通じて、毛原の森を持続可能な森へと 整備します	•京都モデルフォレスト活動を通じて、毛原の森を持続可能な森へと 整備します 毛原の森活動参加人数 160名以上	参加人数 166名	•京都モデルフォレスト活動を通じて、毛原の森を持続可能な森へと整備します 毛原の森活動参加人数 180名以上
	•KRC/バンビの里およびエスペックミック在来種育成ラボをエスペックの 生物多様性保全の教育・普及の場として、生物多様性に取り組むお客さ まや市民に広くご活用いただけるように整備します バンビの里およびエスペックミック在来種育成ラボへの誘引人数 500名	•KRC/バンビの里およびエスペックミック在来種育成ラボをエスペックの 生物多様性保全の教育・普及の場として、生物多様性に取り組むお客さ まや市民に広くご活用いただけるように整備します ①バンビの里への誘引人数 80人 ②エスペックミック在来種育成ラボへの誘引人数 20人	①バンビの里への誘引人数 138人 ②エスペックミック在来種育成ラボへの誘引人数 57人	•KRC/バンビの里およびエスペックミック在来種育成ラボをエスペックの生物多様性保全の 教育・普及の場として、生物多様性に取り組むお客さまや市民に広くご活用いただけるよう に整備します ①バンビの里への誘引人数 150人 ②エスペックミック在来種育成ラボへの誘引人数 80人
	•持続可能な社会実現のために、子どもから大人まで幅広い「環境 のことを考え・行動する人づくり」を実践します ①エコ検定管理職格合率100%の維持 ②森づくりセミナー人材認定等事業新規登録	•「エスペックみどりの学校」のさらなるレベルアップを図ります ①エコ検定管理職格合率100%の維持 ②社員向け環境教育体系を策定 ③命を守る森づくりセミナーへ企業の環境管理担当者の参加誘引	①99.4% ②教育体系の策定完了 ③企業向け森づくりセミナーを開催	•「エスペックみどりの学校」のさらなるレベルアップを図ります ①エコ検定管理職格合率100%の維持 ②環境法規制に対する管理職の理解度を深めるための仕組みの策定 ③企業向け生物多様性・森づくりセミナーを開催し企業の環境管理担当者の参加誘引 年2回開催
	•公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」による助成を 充実します 累積助成件数 281件以上	•公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」による助成を 充実します 年間助成件数 15件以上	年間助成件数 19件	•公益信託「エスペック地球環境研究・技術基金」による助成を充実します 年間助成件数 15件以上